

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地域婚活支援事業		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	笑顔と魅力うずまく地域婚活支援事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じる まちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期
(小項目)		子どものまち			
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援			
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	多様な出逢いの機会を創出し、未婚化・晩婚化の進行に歯止めをかけるとともに、地域の活性化を図る。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、補助金による支援を行い、市内での出逢いの場づくりを支援する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婚活イベント支援数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	婚活イベント支援数	2	2	2	2	2	件
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
婚活イベント支援数	2	2	2	2	2	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門市内で婚活イベントを行う事業者に対し、市単独の補助により2件のイベントに補助金を交付した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	婚活イベント支援数	3	2	-	-	-	件
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	1,000	0	0	1,000	2,000
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	1,000	0	0	1,000	2,000
		決算額	0	0	0	0	209	209
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.1	0.0		723		932	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	784	209	1,000	1,000	1,000
	うち一般財源	392	209	800	800	800
	人件費	713	723	723	723	723
	総事業費	1,497	932	1,723	1,723	1,723

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		イベントでカップルが成立しており、概ね有効性があったと思われる。
	効率性	B:概ね効率的だった		実施主体は民間団体等であり、概ね効率的に事業を実施している。
②成果に対する評価	指標名	婚活イベント支援数		目標件数は達成できた。
	目標	2	件	
	実績	2	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>B</b>		一定の成果は出ていると思われるが、事業の周知方法及び補助要件等に見直しの余地がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	周知方法については、公式ウェブサイト、広報紙、テレビ広報等のほか、婚活イベントを開催している団体等に呼びかけ、支援数を増加させる。また、平成29年度から県補助金交付要件が見直され、1件あたりの補助限度額が引き下げられたことなどを踏まえ、事業者にとって活用しやすい制度設計を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>2</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	県補助金の交付対象である「マリッサとくしま」の応援企業・団体等に声かけを行う。また、募集要領の改正を行い、事業実施団体を市内から県内に事業所を有する団体とすることで、募集要件の幅を広げる。			
	H31年度	H30の状況を見て事業の改善を検討する。			